

伊豆特産サクラ葉の化粧品利用

－化粧品原料およびウェットシートの開発と抗炎症評価－

[背景・目的]

松崎町では桜餅に使用するオオシマザクラの葉を生産しており、全国の約70%のシェアがあります。その一方で、桜餅に使えない規格外の未利用葉が生じており、これを化粧品素材として有効利用できるのではないかと考え、研究に取り組みました。

研究の検討段階で、サクラ葉エキスに抗炎症効果があることがわかりました。そこで、化粧品素材としてのサクラ葉エキスの抽出方法及び素材化と、サクラ葉エキスを配合した製品開発に取り組みました。さらにサクラ葉エキスが抗炎症効果を示す作用機序について検討しました。

[研究成果]

- ・サクラ葉エキスに抗炎症効果があることを明らかにしました(図1)。
- ・サクラ葉エキスは、炎症を引き起こす細胞内情報伝達経路の一部を阻害することで抗炎症効果を発揮していると考えられました。
- ・抗炎症効果を示す成分のひとつとして trans-p-クマル酸メチルを見出しました。
- ・オオシマザクラの葉を抽出する条件を検討し、化粧品原料として素材化しました。(株)エコライフラボ)
- ・サクラ葉エキスを使用した、介護等でも使用できるウェットシートを開発しました(図2)。(ブルネエズ(株))

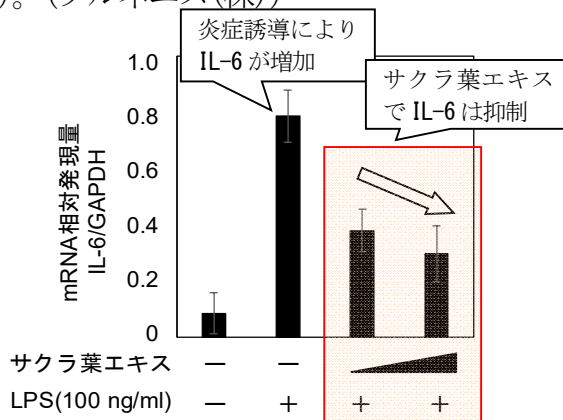


図1 サクラ葉エキスによる IL-6 の抑制

炎症を引き起こすタンパク質のひとつである IL-6 の mRNA 発現をサクラ葉エキスが抑制しました。



図2 サクラ葉エキスの素材化と製品開発

サクラ葉エキスの抽出条件を検討後、素材化し、ウェットシートに配合しました。

[研究成果の普及・技術移転の計画]

技術移転した協力機関において、化粧品原料として使用できるサクラ葉エキスとそのエキスを配合したウェットシートを販売しています。今後は、サクラ葉エキスの利用促進を図るために、細胞試験による評価技術の向上に努めます。